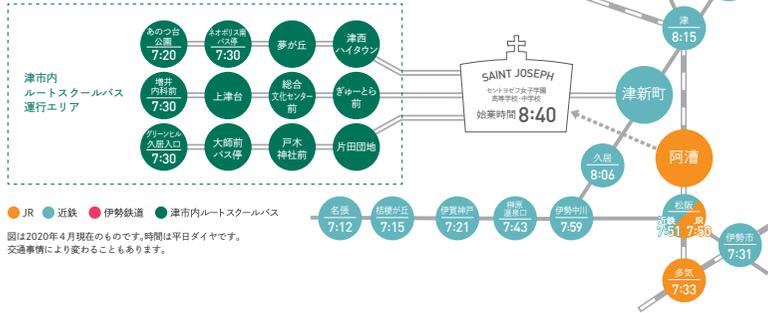


アクセス

始業時間に間に合う

列車出発時刻

近鉄をご利用の場合は津新町駅が最寄りの駅となります。津新町駅からは徒歩または「津新町駅⇄学校」スクールバスを利用します。このスクールバスの所要時間は約10分です。



スクールバス

近鉄津新町駅から学校までのスクールバス(Aルート)に加えて、公共交通機関での通学が不便なエリアの方に、安心安全に通学していただくため、津市内のエリアを回る3ルートの通学バスを運行しています。運行エリアは、利用者の状況に合わせて毎年調整を行っています。

- B** ルート: あのと台公園前 … ネオガリス南バス停 … 夢が丘 … 津西ハイタウン
- C** ルート: 増井内科前 … 上津台 … 総合文化センター前 … きゅーとら前
- D** ルート: グリーンヒル久居入口 … 大師前バス停 … 戸木神社前 … 片田団地



Saint Joseph Joshi Gakuen

— SCHOOL GUIDE 2021 —

セントヨゼフ女子学園 高等学校・中学校 学校案内 2021



Saint Joseph Joshi Gakuen

セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校

〒514-0823 三重県津市半田1330

TEL 059-227-6465 FAX 059-227-6466

<https://sjjg.ac.jp/>



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Member of
UNESCO
Associated
Schools

Why do you study?

その答えを見つけるために…

三重県で唯一の女子校として 世界に期待される女性リーダーを育成

現代の情報化社会は、AI(人工知能)によって情報が束ねられる超スマート社会(Society 5.0)と言われ、世界は多くの社会的課題を抱えています。この課題を解決するためには、人類が協力して取り組んでいかねばなりません。そのため、未来を生きる子どもたちは国際社会に生きることを余儀なくされています。国際社会に生きるとは、世界の人々と一緒になって平和な人間の営みをつくる中で生きることです。

これまでに多くの卒業生が、巣立っていきました。卒業生は皆、建学の精神である「愛と奉仕の精神」を生きる女性として他者のために貢献する優しさを身に付け、「Women for Others」を実践することによって、スクールモットーである「世の光・地の塩」として生きています。

セントヨゼフ女子学園の使命は、三重県に愛着を持ちながら国際感覚を磨き、「国際社会に貢献できるしなやかさを備えた強い意志のある女性」を世の中に送り出すことです。本学園の学びによって生徒たちは、これからはますます必要となる「感性と想像力」を、人と人との関わりの中で育まれる「温かい心とすべての命を慈しむ心」を、そして超スマート社会を生き抜く力を身に付けていきます。

本学園は三重県唯一の女子校として、世界に期待される女性リーダーの育成に取り組んでまいります。

Head teacher

セントヨゼフ女子学園
高等学校・中学校
校長 井関 智子

沿革

- 1956 アメリカから修道女4名が来日
- 1959 セントヨゼフ女子学園高等学校開校
- 1961 セントヨゼフ女子学園中学校開校
- 1963 高等学校生徒急増期に新館校舎1階竣工
- 1969 創立10周年記念事業として新館校舎2階・3階増築、本館校舎改築
- 1984 創立25周年記念事業として理科棟を増築
- 1986 ウォーカソンによる募金活動開始
- 2009 創立50周年記念式典
- 2010 Let's Enjoy English の出張講座(出前授業)で公立小学校との交流開始
- 2011 スーパーアドバンスコース(SAC)、アドバンスコース(AC)募集開始
生徒主導による夏制服の全面変更
- 2012 フィリピンのPAREF Woodrose School、レイクウッドのSaint Joseph High Schoolと姉妹校提携
- 2013 セントルイスのSt. Joseph's Academy、Fontbonne University、カンザスシティのSt. Teresa's Academy、Avila Universityと姉妹校提携
- 2014 サンティエゴのAcademy of Our Lady of Peace、コンコードのCarondelet High School、イングルウッドのSt. Mary's Academy、ロサンゼルス Mount St. Mary's Universityと姉妹校提携
- 2015 ユネスコスクールに加盟が認められ、持続可能な発展のための教育(ESD)の実施を開始
ニュージーランドのSt. Mary's Collegeと姉妹校提携
- 2017 津市と英語教育推進のための連携協力協定調印
- 2019 創立60周年記念式典
学びと憩いのオープンスペース新設

目指す生徒像

- 善を尊び、真理を求める
知性ある女性
- だれにでも思いやりのある
素直で愛情豊かな女性
- 教養ある慎みをそなえた
美しい品位のある女性
- 自主的で明るくはつらつとした
健康な女性

School Motto

スクールモットー



世の光・地の塩

「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、ともし火をともして灯の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである」

出典 マタイによる福音書5章13～16節



日差しがたっぷり差し込む歴史のある建物に、電子黒板やセキュリティなどの先進設備が融合。伝統と先進が息づく環境で過ごすヨゼフ生は毎日笑顔いっぱいです。



真剣かつ楽しく授業に取り組む生徒たち。
授業が始まる前に、クラスの代表が教室の前で先生を迎えます。
空手の授業は、新たな伝統のはじまり。しなやかさと力強さを育みます。

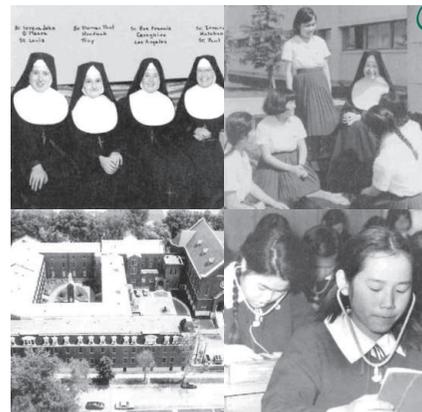


建学の精神



愛と奉仕の精神

本学園の建学の精神は「愛と奉仕の精神に生きる」ことです。これはキリストの中心的教えとキリストの示された模範に基づいています。同時に、人々を愛し、人々の幸福のために貢献したいという創立者シスターアーミナの精神を受けついでものです。



School Philosophy



カトリック教育は感受性豊かな生徒たちのよりどころに。
英語教育には定評があり、三重県で初めて機械を使った英語のヒアリングに取り組みました。
創立以来、アメリカ人のシスターから英語を学び、
今も英語教育はセントヨゼフの大きな柱の一つです。



Saint
Joseph
Joshi
Gakuen

愛と
奉仕の
実践

愛を持って 社会へ貢献できる女性へ

6年間を通してさまざまな奉仕活動を経験します。

1年生ではボランティアの心得を学び、

2年生以降は、より広い視野を持ち、

段階的にさまざまなプログラムに参加します。

体験から学ぶことを大切にしながら社会の必要性を考え、

行動できる女性へと成長します。

Zone and service in Practice
1

マリア祭と修養会



神さまへの強い信仰の象徴として
マリア様を讃える

カトリック教会では、5月はマリア様の月と定められており、本校でもマリア様を讃える「マリア祭」を実施します。校庭にある純白のマリア様にお花を捧げ、神父様に祈りを捧げていただきます。その後は修養会として、神父様のお話を聴き、自己と向き合う一日を過ごします。

Zone and service in Practice
2

祈りの時間



忙しい毎日の中で
自分を見つめ直す時間に

セントヨゼフには祈りの時間があります。「祈りとは、ただそこに身を置いていることです。心を落ち着け、神さまが入ってくるための時間をつくり、神さまに見つめてもらうことです」という教皇フランシスコの言葉のように、忙しさのなかで自分を見失いがちな私たちにとって大切な時間となっています。

Zone and service in Practice
3

“Women for Others”の実践



国内外で、英語力をいかして
活動を体験する

英語を使って「愛と奉仕の精神」を国内外で実践します。フィリピンのHoly Family Schoolと交流しているのもその一つです。また、主に津市内の小学校へ向向き、小学生に英語の楽しさを伝える役割を担う“Let's Enjoy English”も“Women for Others”の活動の一環です。

Zone and service in Practice
4

ウォーカーソン



10kmコースを歩きながら
世界に目を向ける募金活動

「ウォーカーソン」とは、教育や医療の援助を必要としている国や地域を支援するために、津市内10キロのコースを歩く募金活動です。インド、チェルノブイリ、シエラレオネといった継続的に支援してきた地域に加え、フィリピンの学校など、支援先も広がりを見せています。



Saint
Joseph
Joshi
Gakuen

セント
ヨゼフの
英語教育

“ボーダーレスな社会で認められる英語力”を6年間で着実に養う

セントヨゼフでは、大学入試のためだけではなく、国内外を問わず、世の中に貢献するためのツールとして英語力を育てています。自分の意志や考えをしっかりと持ち、臆せず英語を使う姿勢と、相手に伝えようとする強い想いが、「社会の中で一目置かれる英語力」を育むポイントです。「教室で学び、実生活で使い、可能性に気づく」という学びのスタイルがヨゼフの英語教育です。

Step 1 国内で「英語の基礎」をしっかり育む



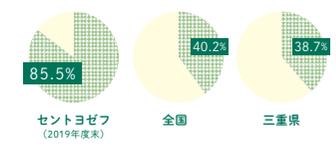
英語外部検定試験

本校では数十年にわたり、「英検」を英語の実力を測る重要なスタンダードとして捉えてきました。「聞く・読む・話す・書く」といった4技能の力をバランス良く伸ばすため、英語科教員による英作文とスピーキング対策講座を開講し、一人ひとりに的確なアドバイスをするようにしています。また、高校生はGTECにも取り組み、到達度を測っています。

▶英検取得状況(2019年度末)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
1級	0	0	1	0	0	1	2
準1級	0	1	0	1	5	5	12
2級	2	2	18	36	57	50	165
準2級	5	15	28	29	14	16	107

▶英検準2級以上を有する高校3年生の割合



平成30年度文部科学省「英語教育実施状況調査」より

多読・オンライン英会話・英作文添削



英語学習における多読の有用性に着眼し、図書室には数千冊の洋書を豊富に揃えて、授業に取り入れています。また、ICTを活用した多読・英会話レッスン・英作文の添削も導入し、より効果的・包括的に英語の4技能を養います。

Let's Enjoy English



生徒が先生となって、小学校で英語の出前授業を行うプログラムです。授業中の会話や活動内容の説明はすべて英語。積極性など、リーダーシップ要素が求められる小学校での授業は、とても良い学びの機会になっています。

iPadを活用した双方向授業



「ロイノート・スクール」を通して、自分の考えを的確にプレゼンテーションする方法を学んでいます。また、音声録音・提出できる機能を使い、音読やスピーキングのテストを行うことで、アウトプットの機会を増やしています。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
授業スタイル	コースを超えた習熟度別授業 ※1年生は後期より開始 最初から最後まで、英語で英語を学ぶ授業					
目標達成度 英検取得級 (CEFR基準※)	英検4級～準2級 (A1～A2)		英検準2級～2級 (A2～B1)		英検2級 (B1)	英検2級～準1級 (B1～B2)
特別活動	英語劇の発表	暗唱コンテスト	スピーチコンテスト	姉妹校との交流(パディ制度) 小学校出前授業 Let's Enjoy English		
海外語学研修	台湾研修 (SAC対象)	ニュージーランド研修	カナダ研修・ アメリカ研修	フィリピン研修		
その他	校外暗唱/スピーチコンテスト					アメリカ 姉妹大学へ推薦入学

※CEFR(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment)学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価などのために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基準を提供するものとして、20年以上に渡る研究を経て策定された、欧州域内外で使われている基準

Step 2 世界へ飛び出し、発見を楽しむ!

6年間で5回のチャンス

海外研修

海外研修は、授業で習得した英語力を実際に試す絶好の機会になっています。英語の習熟度や目的に応じて、6年間で5回チャンスがあります。これらの体験によって国際的な視野を広げた生徒は、ものの考え方が大きく変わることが少なくありません。現地の生徒と一緒に授業に参加するアメリカ研修をはじめ、各研修の内容はそれぞれ大きく異なります。



- ・台湾研修 … 1年生SAC対象・台北市内4日間
- ・ニュージーランド研修 … 2年生対象・オークランド10日間
- ・アメリカ研修 … 3~5年生対象・ロサンゼルス10日間
- ・カナダ研修 … 3~5年生対象・バンクーバー10日間
- ・フィリピン研修 … 5年生対象・マニラ10日間

行き先

世界各国で研修・留学できる

姉妹高校・姉妹大学

セントヨゼフの設立母体である聖ヨゼフ修道会はアメリカ・セントルイスに本部があり、世界中で数多くの学校を運営しています。その中の一つである本学園は、アメリカの3大学・6高校と姉妹校提携を結んでいます。また、フィリピンとニュージーランドにある学校とも姉妹校提携を結んでいます。海外研修中の交流はもちろん、姉妹大学は姉妹校推薦という形で、卒業後の進学先として選ぶこともできます。

フィリピン
姉妹校(1校)

〈姉妹高校〉
PAREF Woodrose
School



アメリカ姉妹校(9校)

〈姉妹高校〉

- ▷ Carondelet High School
- ▷ St. Mary's Academy
- ▷ Saint Joseph High School
- ▷ Academy of Our Lady of Peace
- ▷ St. Teresa's Academy
- ▷ St. Joseph's Academy



〈姉妹大学〉

- ▷ Fontbonne University
- ▷ Avila University
- ▷ Mount Saint Mary's University



ニュージーランド
姉妹校(1校)

〈姉妹高校〉

- ▷ St. Mary's College



Graduate's Voice

海外の大学へ進学 **アメリカ** Fontbonne University 加藤愛希さん(写真右)

この12月に卒業を迎えます。夏には卒業単位の一つとして、リゾート地である有名なグアムの高級ホテルでのインターンシップが決まっています。卒業後は、留学生がwork visaなしに1年アメリカで働くことができるOPT(optional practical training)で海外でのお仕事の経験を積むことができると考えています。さまざまなスキルを身につけ、将来の夢の実現に向かって頑張っています。



インタビュー詳細はQRコードから



Step 3 世界と一緒に課題解決に挑んでいく

世界で約11,000校

ユネスコスクールとしての取り組み



本校はユネスコスクールの掲げるテーマとして、貧困や災害のような地球規模の問題に対する活動や人権理解、異文化理解教育を実践しています。たとえば本校の「ウォーカーソン」の取り組みは、全校生徒が地球規模の社会問題について考え活動する機会となっています。また、ウォーカーソンにつながるフィリピン研修やその他4種類の海外研修では、海外の文化の違いを学習することを目的としています。このような経験から培われる生徒の多面的な視点は、卒業後もさまざまな分野にわたって活かされており、持続可能な教育として本校に根付いています。

第13回全日本高校模擬国連に参加!



東京ビッグサイトビルで開催された第13回全日本高校模擬国連大会にSAC6年 樋口実波さん、平野里奈さん、奥山千笑さん、大西夏鈴さんの4名が出演しました。

国際社会みんなで目指す目標

SDGsの活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界をよりよくするための17の目標



SDGsとは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国連目標で、2030年までに持続可能でより良い世界を目指しています。17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。本校では、カトリック教育の「見失った一匹の羊」(新約聖書ルカによる福音書15章)の例えに照らし、このSDGsのゴールに向けて積極的に取り組んでいます。

●2019年度のセントヨゼフの取り組み

* グローブ活動
(グループ13期指定校として令和元・2年度「環境のための地球規模の学習および観測プログラム」参加)



* 女子高生サミット
in 熊本



* 子どもを取り巻く問題を考える
(子ども食堂、フードバンク、社会施設での交流)



自ら挑戦する生徒が続々!

海外プログラム

授業で身に付けた「英語力」と、積み上げてきた「知識力、思考力、表現力」を活かし、自分の可能性に挑戦する生徒を全力でサポートします。



● 第5回高校生カンボジアスタディツアー

SAC6年 奥山千笑さん

カンボジアの首都プノンペンと、アンコールワットのあるシェムリアップに5日間滞在しました。温かく陽気な人柄や豊かな自然も印象的でしたが、シェムリアップの村で、幼く見た文字を習う子どもたちが同年であった事は忘れられません。カンボジアが直面するインフラや教育環境の問題が、激しい内戦と虐殺の原因である事を知り、国際支援とは? 平和教育とは? と考えるようになりました。



将来の自分を見つける6年間の



理念 心の教育 目標 キャリア教育 学習指導	愛と奉仕の精神					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	生きる力の育成		国際理解		協働・探究	
	自分を知る	社会を知る	世界を知る	世界の中の自分探究	学問探究	進路実現
	<input type="checkbox"/> ボランティア基礎講座 <input type="checkbox"/> 自分新聞 <input type="checkbox"/> 英語劇 <input type="checkbox"/> 職業講話	<input type="checkbox"/> 職場体験 <input type="checkbox"/> 日本の伝統文化体験	<input type="checkbox"/> 大学での講義体験 <input type="checkbox"/> 国際理解講座 <input type="checkbox"/> 研修旅行	<input type="checkbox"/> 三重大学学部説明会 <input type="checkbox"/> 各種体験学習 <input type="checkbox"/> 希望進路に関する小論文発表	<input type="checkbox"/> セントヨゼフ一日大 <input type="checkbox"/> 三重大学サマーセミナー	<input type="checkbox"/> 大学進学相談会
	基礎学力の定着	中学の学習内容の総仕上げ	高校に向けた発展的学習	入試学力の土台作り	進路実現に向けた入試学力の育成 ～総仕上げ	
学力推移調査		思考力を育成するための中学総合学力調査		受験対策講座		
		夏期課外講座		全統模試 進研模試		

中1から高3までの6年間、女子の成長に合わせて積み上げる教育を行っています。キャリア教育の中にもSDGsの視点を取り入れ、自分の将来を描くことで学習意欲を高めます。学力に合わせて学べるように、スーパーアドバンスコース(SAC)とアドバンスコース(AC)を設けています。さらに4つのグループに分けた習熟度別授業も展開し、1人ひとりの理解を大切にします。



一歩先の学習にトライ

SAC

【スーパーアドバンスコース】

発展的学習により、思考力・判断力・表現力や、課題に向かって主体的に学ぶ力を身につけるコース。中学生は日本人教員とネイティブ教員がペアとなった2人担任制を採用し、日々のホームルームでも英語に触れる環境を整えています。また、6年一貫教育のメリットを最大限に生かし、早い段階から高校の内容も先取り学習します。生徒に必要なのは、社会がどのように変化しても自分の力で道を切り開いていける力を身につけることです。将来、しなやかなリーダーシップを発揮し、国際社会で活躍できる女性を育てます。

過去3年の主な合格大学

- 三重大学医学部医学科 ・ 北海道大学
- 名古屋大学 ・ 神戸大学 ・ 奈良女子大学
- 神戸市外国語大学 ・ 大阪教育大学
- 愛知県立大学 ・ 東京理科大学 ・ 慶應義塾大学
- 上智大学 ・ 早稲田大学 ・ 明治大学
- 青山学院大学 ・ 同志社大学



基礎からコツコツ取り組む

AC

【アドバンスコース】

じっくりコツコツ学ぶことで、土台となる知識・技能、基礎学力を身につけるコース。日々のチェックテストなどで生徒一人一人のつまづきを把握し、学力の定着につなげていきます。定期試験の前には放課後の補習なども実施しています。また、本校での日常生活や様々な体験学習を通して、主体的に学ぶ姿勢や自らを社会のなかで役立てようとする精神を育てます。生徒たちは、学習や部活動、学校外での習い事などを両立し、生き生きとした生活を送っています。2年・3年への進級時にSACの学習内容に十分対応できると判断した場合、SACへのコース変更が可能です。

過去3年の主な合格大学

- 三重大学 ・ 金沢大学 ・ 国際教養大学
- 愛知県立芸術大学 ・ 三重県立看護大学
- 上智大学 ・ 立教大学 ・ 東京女子大学
- 同志社大学 ・ 立命館大学 ・ 南山大学
- 関西学院大学 ・ 津田塾大学 ・ 東洋大学

合格ストーリー

実践的な英語を学んだ強み

在学中、私は海外研修に参加しホストファミリーとして留学生を受け入れる経験をしました。そこでたくさんの人たちと出会ったことで、それまであやふやだった自分の進路を明確に決めることができました。そして実践的な英語を身につけたことが、大学での学びに大いに役立っています。セントヨゼフの豊富な体験の機会と環境、そして手厚い指導がいつも背中を押して下さった先生方に感謝しています。



三重大学 医学部 医学科
増森 奈規早さん

合格ストーリー

国際社会に貢献できる女性に

私はセントヨゼフで過ごした中で特に英語学習に力を入れました。ヨゼフでは英語を「学ぶ」に留まらず、実際に英語を「使う」機会がたくさんあります。私はその機会を利用して自分のスキルを高めることができました。国際化が進む今これからもヨゼフで培った英語能力を活かし、社会に貢献していきたいと思っています。



関西学院大学
文学部 文学言語学科
前川 聖葵さん



Saint
Joseph
Joshi
Gakuen

充実した
ICT環境

ICTのワクワクで 学びの質をアップ

今までの教科書を使った授業では体験することができなかったことにアプローチするために、生徒1人ひとりにiPadを貸与し、ICT機器を活用した授業を展開しています。イメージや動画を活用した授業により、理解度もアップ。主体的な学びのツールになっています。

1人に1台のiPad



1~6年全員にiPadを貸与し、授業をはじめ課外活動、グループ活動などに活用します。「学びの質」や「学びの環境」の向上に大いに役立っています。

全館Wi-Fi完備



校舎内の全エリアでWi-Fiを完備。授業を行うすべての教室には電子黒板が設置されておりワイヤレスで映像を投影して授業が行えます。

オンライン教育



休校措置に対応して県下でいち早くClassi、ロイノート、Youtube、ビデオ会議システムを使ったホームルーム。また、三重県で開催される「三重とこわか国体」に出場してメダルをとることで、それまでにたくさん練習をし、いろいろなことを身につけていきたいと思っています。

Saint
Joseph
Joshi
Gakuen

個性を
生かした
教育

多彩な分野で活躍する ヨゼフ生たち

セントヨゼフには、さまざまな分野で活躍する生徒がいます。学業はもちろんのこと、高い目標を持って特技や習い事を両立しながら充実した学園生活を送っています。

友だちの応援が私の力に



愛知県一宮市のダンスチームに所属し、毎年全国大会出場を目指して活動しています。今年は世界大会に出場できることになりました。週4~5回の練習と勉強を両立するため、しなければならないことに優先順位をつけて、宿題の計画を立てています。また、登下校中の電車の中も予習や復習の時間にあてています。大変なときもありますが、学校生活はとても楽しく友だちも応援してくれるので、それが私の頑張る力になっています。

全国そして世界で輝きたい!



週3回4時間くらいの水中練習とそれに筋トレや柔軟体操もしています。大会が近づくたびに週4~5回に練習が増え、大会とテストが重なると勉強との両立がとても大変になりますが、工夫して頑張っています。コーチの指導は厳しく、練習はとても大変ですが、大会で良い結果が出たときの達成感は何にもかえられません。今は「三重とこわか国体」に出場すること、全国大会や世界大会でも良い結果を残すことを目標にして、日々の練習を頑張っています。

三重とこわか国体でメダルをとりたい



私たちは週2回、学校外の体育施設で練習をしています。週末や長期休みの時は県外での試合や強化練習会なども多く、限られた時間を工夫し勉強との両立をしています。昨年度出場することができたJOCの大会で全国の強豪選手と対戦し、改めて自分の技術や精神面を鍛えていくことが必要だと感じました。私たちの目標は、三重県で開催される「三重とこわか国体」に出場してメダルをとることです。それまでにたくさん練習をし、いろいろなことを身につけていきたいと思っています。

目標は全国制覇!



私たちは愛知県のチームに所属し、休日はチーム練習、平日は学校の部活動と家で練習、長期休みの時はランニングや筋トレ、体幹トレーニングをしています。ボールを使っての練習やチーム練習だけではなく、体作りや基礎練習も大切にしています。ソフトボールだけでなく勉強も同じで、基礎ができていないと応用ができないと思うので、基礎学力を身につけるように取り組んでいます。所属するチームは強豪チームであり遠征が多いので、勉強との両立が難しいのではと不安もありましたが、先生方もサポートしてくださるので私たちは頑張ることができています。



“本当になりたい自分”を かなえる丁寧な指導

本校の進路指導の大原則は「希望をかなえる」です。生徒一人ひとりに寄り添い、喜びを分かち合う事を大切にしています。進路の指針として、さまざまなキャリアプログラムを実施。充実した指定校推薦も活用し、生徒の可能性をぐっと広げる指導を行っています。

キャリア教育・探究活動プログラム



職場体験・キャンパス体験

日頃学んだことを社会とつなげるために、2年生で職場体験を実施します。働く経験を通して、周囲に目を向けられる広い視野の育成を目指します。また普段の学習の重要性に気付かせ学習意欲を向上させます。3年生では大学に行き、キャンパスを見学するだけでなく、講義も体験します。いち早く大学の講義を体験することで、将来像を描き、早期の進路選択と学習の準備を促します。



セントヨゼフ一日大学

4・5年生では大学の先生方をお呼びして、本校で講義をしていただいています。内容も大学で行われているものと同じです。難易度の高いものもありますが、高いレベルの講義を受講することで、普段の学習の重要性に気付かせます。またより高度な学問への探究心も目覚めさせます。実際の講義を体験することで、自分の志望を定め、学部学科・大学を自分で選択できるようになります。

主な合格大学と指定校推薦

カトリック校推薦のある大学

- 上智大学
- 南山大学

姉妹校推薦のある大学

- Fontbonne University
- Avila University
- Mount Saint Mary's University

指定校推薦のある主な大学

〈関東地区〉

- 日本歯科大学
- 白百合女子大学
- 聖心女子大学
- 中央大学
- 東京女子大学
- 東京理科大学
- 明治大学
- 立教大学

〈関西地区〉

- 関西大学
- 関西学院大学
- 立命館大学
- 京都産業大学
- 神戸学院大学
- 神戸薬科大学
- 同志社大学
- 武庫川女子大学

〈中部地区〉

- 愛知学院大学
- 愛知淑徳大学
- 名古屋学院大学
- 藤田医科大学
- 金城学院大学
- 桐山女学園大学
- 鈴鹿医療科学大学
- 中京大学
- 名古屋外国語大学
- 名城大学



3年間の主な合格大学

国立大学

2018年度・2019年度・2020年度			2018年度・2019年度・2020年度			2018年度・2019年度・2020年度		
北海道大学		1	神戸大学	1	1	愛知県立芸術大学	1	1
金沢大学	1		奈良女子大学	1		名古屋市立大学	1	
信州大学	1		国際教養大学	1		三重県立看護大学	1	1
名古屋大学	1		東京都立大学	1		神戸市外国語大学	1	
三重大学	7	2	3	神奈川県立保健福祉大学		1		
大阪教育大学	1			愛知県立大学		1		

私立大学

2018年度・2019年度・2020年度			2018年度・2019年度・2020年度			2018年度・2019年度・2020年度				
青山学院大学		1	明治大学	1	4	京都薬科大学	1	1		
学習院大学			立教大学	3	5	2	同志社大学	5	2	
慶應義塾大学		3	早稲田大学		3	同志社女子大学	2	3		
駒沢大学	5			愛知大学	1	1	2	立命館大学	8	9
上智大学	1	1	3	愛知医科大学		1		大阪医科大学	1	
聖心女子大学	1	1		金城学院大学	11	3	7	大阪歯科大学	1	
中央大学		2		桐山女学院大学	3	4	8	大阪薬科大学		1
津田塾大学	2	1		名古屋外国語大学	5	1	2	関西大学	5	1
東京歯科大学			1	南山大学	8	5	3	関西外国語大学	1	3
東京女子大学	2	1	1	藤田医科大学	1	2		近畿大学	2	16
東京理科大学		1		名城大学	4	7	4	関西学院大学	8	3
東洋大学		2	3	皇學館大学	6	4	3	甲南大学		1
日本大学	1	1	5	鈴鹿医療科学大学	7	14	8	神戸学院大学		2
法政大学			1	京都女子大学	3		2	神戸薬科大学		1

※主な大学のみ抜粋しています。

医学部 医学科 (過去5年)

- 三重大学 2名(2017,2019年度)
- 北里大学 1名(2017年度)
- 帝京大学 1名(2017年度)
- 日本大学 1名(2017年度)
- 藤田医科大学 1名(2017年度)
- 産業医科大学 1名(2017年度)

海外進学

- Fontbonne University 2名(2017年度)
- Avila University 1名(2018年度)

Why do you study?

卒業生メッセージ

その答えを見つけて輝く卒業生たち

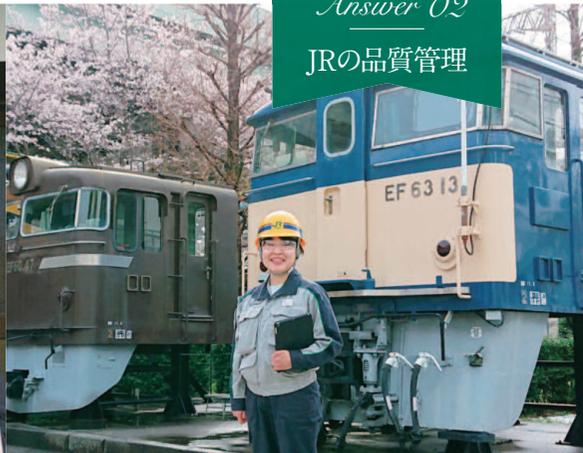
Answer 01

酒蔵の経営・企画



Answer 02

JRの品質管理



Answer 03

銀行



Answer 04

看護大学生



女性による、女性が贈られたい
日本酒づくりに邁進

若戎酒造株式会社
代表取締役社長
企画室

重藤邦子さん(31期卒業生)
久保由里さん(32期卒業生)

「笑顔に乾杯!! 若戎」。これは弊社のキャッチフレーズで、お客様の笑顔に出会うために感謝の気持ちを忘れず日々邁進しています。私たちが姉妹は、日本酒の製造・販売を家業とする酒蔵に生まれ、中学・高校時代をセントヨゼフ女子学園で過ごしました。当時は校則が厳しく窮屈に感じていたこともありましたが、今思えば愛情にあふれた先生方や友人との楽しい学園生活のことがばりです。私たちはYMG(喜びをもたらすグループ)という部活在籍し、介護施設の訪問をはじめ様々な奉仕活動を行っていました。この体験で多くの人の笑顔に出会い、私たちの中に愛と奉仕の精神が育まれたのだと思います。近年の若者の日本酒離れが進み中、私たちは「女性スタッフが仕上げた、女性が贈られたい日本酒」を企画・開発しました。お客様に笑顔になっていただけるものづくりをしたいという気持ちは「愛をもって社会貢献する女性」の育成を目指すセントヨゼフの教育によって養われたものと感謝しており、会社経営をするうえで最も大切なこととして生かされています。

お客さま目線での
メンテナンスを心掛ける

東日本旅客鉄道株式会社
大宮総合車両センター 寺田理恵さん(41期卒業生)

大宮総合車両センターは、JR東日本の首都圏を走る電車や、客車、SLなど、様々な車両のメンテナンスを行っています。自動車で行くところの車検と同じで、数年に一度のオーバーホールを行う工場です。私は、大宮総合車両センター初の女性社員として入社し、現場にて車両の修繕、検査業務を経験し、現在は車両品質や業務品質の管理に携わっています。

セントヨゼフでの6年間で学んだことは、確実に今の私を形づくっています。特に、外に向かって発信する奉仕活動から、積極的に取り組む姿勢やコミュニケーション能力、思いやりの心を学びました。積極性は、初めての女性社員に戸惑う職場の先輩方とのコミュニケーションや、仕事を学ぶ姿勢に生かされています。思いやりの心は、老若男女様々なお客さまがご利用される鉄道車両において、お客さま目線でのメンテナンスを心掛ける上で重要です。

グローバル化やバリアフリーが進む世の中で、セントヨゼフで培った女性らしい柔軟で細やかな視点と思いやりの心を忘れずに、よりよい車両を提供してまいります。

在学中のさまざまな体験を通して身につけたスキルは、社会の中で生きていく上で、大いに役立っています。セントヨゼフで培った「愛と奉仕の精神」は、卒業後の生き方に反映されています。

ヨゼフで学んだ
「誠実、責任、成長」をモットーに

百五銀行

青 未貴さん(43期卒業生)

自分の将来について真剣に考えた時「私は生まれ育った三重で働きたい! 地元の人々のために貢献したい!」ということに気がきました。銀行員は、お客様と接して様々な相談業務を行い、お客様の人生に関わらせていただくのが仕事です。仕事をすることで私が大切にしている3つのことは、相手と「誠実」に向き合い、自分の行動に「責任」をもち、自分の「成長」が社会貢献につながる喜びを感じながら、お客様一人ひとりに寄り添うよう心掛けて仕事をすることです。

セントヨゼフで過ごしていた頃は些細なことで悩み、その度に友人や先生方が親身になって話を聴いてくださいました。私が誤った方向へ行動する前に正しい方向に導いて「自分の行動に責任をもてる人になりなさい」と教えてくださいました。そして友人たちと切磋琢磨しながら成長することの楽しさと、人の役に立つことの喜びを知りました。この経験が今の私の根幹となっていると思います。今後も、お客様の大変な人生に関わらせていただく銀行員として、日々精進してまいります。

“Women for Others”を実践する
看護師をめざして

三重県立看護大学 在学 橋本京佳さん(58期卒業生)

小学生の頃、私は看護師になりたいという漠然とした夢がありました。それから中学、高校の6年間の学びは、夢を実現する大きな歩みでした。そして今、看護大学に在籍し、医療現場での確に判断ができる高度な医療技術を持った看護師を目指しています。中学・高校時代を過ごしたセントヨゼフ女子学園は、愛と奉仕の精神を人として最も大切な考え方として、ボランティア活動や国際交流活動を熱心に行っていました。私は英語を勉強したくて入学したのですが、ウォーカソンなどの奉仕活動にも関心を持つようになり、「私が勉強しているのは社会で役立つ人になるためだ」と気付きました。また学園会の役員を務めることで「一人の女性として社会貢献をしたい」というビジョンを持つようになりました。「女性の思考や視点」と「私だからできること」を具体的に考えるようになりました。Society 5.0と言われている新しい時代の中で、セントヨゼフで養った「人ならではの感性や価値観」「広い視野で物事を考える力」を発揮し、看護師として“Women for Others”を実践していきたいと思っています。

Saint
Joseph
Joshi
Gakuen

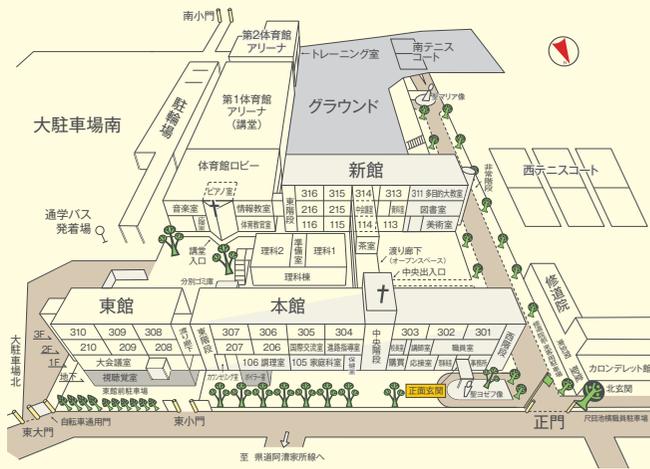
セント
ヨゼフの
毎日



オープンスペースは
柔らかい雰囲気です
リラックスできます

FACILITIES
施設

校内の施設は、生徒が気持ちよくすごせるよう常に清潔に保たれており、用途に応じて使いやすく工夫されています。2019年の4月に生徒たちの憩いの場として、新たにオープンスペースができました。西テニスコートは、2018年にグリーンセット社のハードコートになりました。



UNIFORM
制服

創立当時から変わらないグリーン制服は、ヨゼフのトレードマークになっています。冬服は、6年間を通して着用でき、中学生は赤色、高校生は茶色のネクタイを着けます。



WINTER
冬服

冬服はさまざまな着こなしが可能です。ブラウスの上に、セーター、ベスト、ジャケットを重ね着することもできます。スカートは、チェックの替えスカートと2種類あります。



SUMMER
夏服

〈中学生〉
チェックのワンピースです。風通しがよく涼しいので、快適に過ごすことができます。アレルギー対策加工を施してあります。

〈高校生〉
白のセパレートです。上着のボタンの付き方がオシャレなアクセントになっています。上着に合わせたチェックの替えスカートがあります。



CLUB ACTIVITIES

部活動

人間関係を育む大切な成長の機会である部活動。
毎日の活動を通じて生活にメリハリをつけ、時間の有効的な使い方も学ぶことができます。



運動部

- 陸上部
- ソフトボール部
- テニス部
- バドミントン部
- バスケットボール部
- バレーボール部

文化部

- Global Communication Union (G.C.U.)
- ギター・マンドリン部
- 美術部
- 茶道部
- 書道部
- 合唱部
- 料理部
- 筝部

宗教奉仕部

- ハンドベル部
ヨゼフを代表する部活動であるハンドベル部。学校行事だけではなく、県内のさまざまな場所に出向き、演奏を行っています。
- YMG
福祉施設訪問、保育園訪問、学校行事のサポートなど、みんなの喜びになる活動をしています。
- ぶどうの会
近隣の小学生との交流活動「学楽会」(本校の部活動とのコラボレーション)を行っています。
- Wings of Friendship
在校生の会員からの募金活動や、手作りキャンドル販売などの活動を通して、シエラレオネの子どものための教育資金支援活動を行っています。

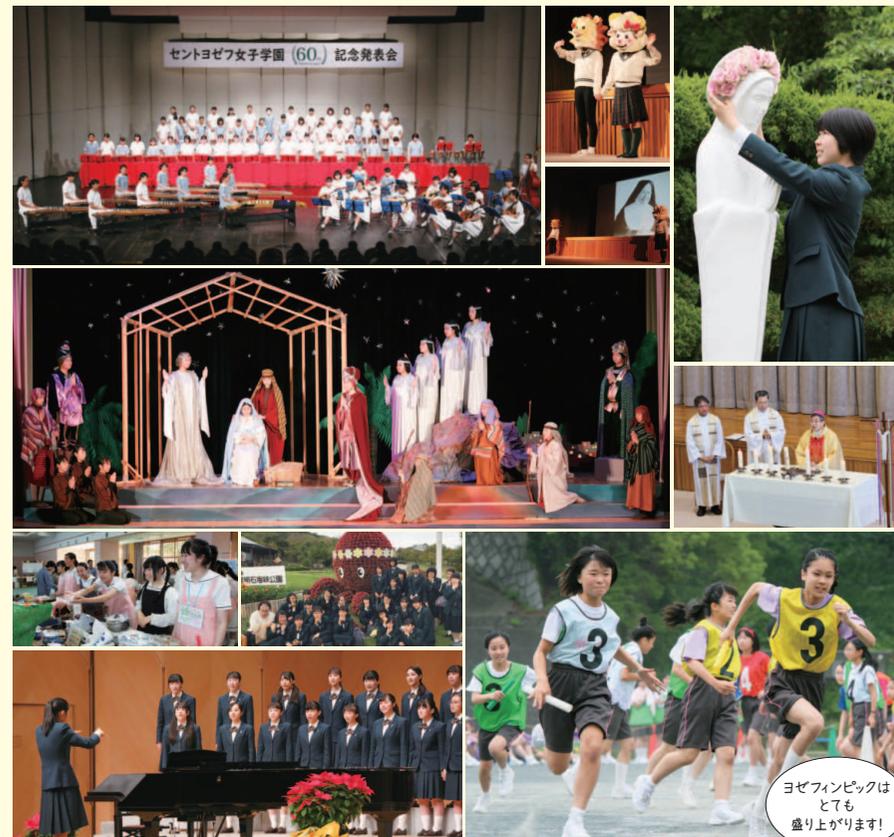


中学から硬式テニスが楽しめます!

EVENTS

行事

ヨゼフならではの宗教行事をはじめ、さまざまな行事を通して、場面ごとに生徒がリーダーシップを発揮しています。普段の授業では経験できない多くのことを学びます。



- 4月 ● 入学式
 - 宿泊研修 (1年)
 - 遠足 (2年~6年)
 - 担任面談
- 5月 ● マリア祭
 - 修養会
 - 進路説明会 (6年)
- 6月 ● バザー
 - 芸術鑑賞会
 - ヨゼフィンピック
- 7月 ● 定期試験
 - 授業公開
 - 三者面談
 - 大学進学説明会 (4~6年)
 - 夏期課外講座
- 8月 ● 夏期課外講座
 - フィリピン研修 (5年希望者)
- 9月 ● 一日大学 (4・5年)
 - 文化宗教奉仕部発表会
- 10月 ● 定期試験
 - 進路説明会 (4・5年)
 - 授業参観
 - ウォークソン
 - 研修旅行 (3年)
 - 担任面談
- 11月 ● 追悼ミサ
 - 定期試験
- 12月 ● クリスマスキャロル合唱コンクール
 - クリスマスページェント
 - 三者面談
- 1月 ● 学園会役員選挙
- 2月 ● 部活対抗駅伝
 - 定期試験
- 3月 ● 高校卒業式
 - 聖ヨゼフの日のミサ
 - 研修旅行 (5年)
 - 台湾研修 (1年SAC)
 - ニュージーランド研修 (2年希望者)
 - カナダ研修 (3年~5年希望者)
 - アメリカ研修 (3年~5年希望者)

ヨゼフィンピックはとて盛りに上がります!

